

責任世代

まさあき通信

仙台市議会議員(若林区) 佐藤正昭 市政活動報告 2019 春号

仙台市議会 平成31年度 第1回定例会

向かう先に希望と夢のある都市づくりを。 これからの「仙台市経営プラン」を市民に示すよう求めました。

東日本大震災から8年が経過しました。その復興過程で、仙台市は市民に復興後の仙台、夢のある未来の姿を示していたでしょうか。私は、ピンチをチャンスととらえる戦略性のあるまちづくりについて市の考えを質しました。

キーワードは「世界の中の仙台市」

いま全国で地方創生の動きが活発になってきています。地方の自治体がそれぞれの未来を切り開いていくためには、想像力と熱意のある市政を推進し続けていくことが問われています。

これまで仙台市に欠けていたのが「世界の中の仙台市」という視点です。広い視野で市民に希望をもたらす「仙台市経営プラン」を示すよう市に求めました。

市民参加推進、産学官連携のまちづくりを

まちの活力を生むためには、民間が積極的に事業に挑戦し、自分たちのまちは自分たちで変えていくという意識改革が求められます。市には、仙台都市圏の成長を担う産学官連携のプ

ラットホームの新たな仕組み作りを要望。民間の力を引き出す施策を積み重ね、地域の成長モデルを仙台から世界に発信していくことを提案しました。

これからの都市の姿を仙台から

時代は大きな転換期にきています。本市は政令都市としての強みと国家戦略特区の規制緩和を活用した様々な未来創造型の事業にチャレンジするなど、「変わる努力」を続けることで、これからの都市の姿を全国に示すことが出来ます。

本市の能力を生かし、時代の変化をとらえた政策によって、市民生活が「今日より明日の方がよくなる」という新たな希望へと向かっていくことを示すよう求めました。

市からは、「未来志向で新しい時代に相応しい都市へと進化させ、市民がこのまちに暮らすことのできる夢や希望を抱けるような都市づくりをめざす」などの回答がありました。私は、都市に活力を呼び込む施策を戦略的に展開するという取り組みの進展をこれからも注視し、提言を続けていきます。



行動する!

市民生活の安全と安心に向き合う政策を 実現する

「化学物質過敏症」の勉強会を開催。市に患者支援への積極的な取り組みを求めました。

化学物質過敏症は、身近なものに含まれている化学物質によって様々な辛い症状を引き起こす病気で、国内の患者数は推定約700万人といわれています。

1月30日、健康福祉局、子供未来局、教育局などにも呼びかけ、9人の市議員と共に、患者支援や発症予防に取り組む市民団体の方々との勉強会を開催しました。この病気は、衣食住全てにおいて様々な化学物質にあふれている現代社会では、いつ誰が発症してもおかしくない「環境病」です。市には、発症予防の観点からも、市民に具体的な協力と配慮を呼びかけるなど全市をあげて対策に取り組むことを求めた結果、市の施設や学校などにポスター掲示を実現しました。



「客引き行為等の禁止」と「自転車安全利用」について、条例の実効性を高める対策について提言しました。

今年4月、仙台市の安全と安心を守るふたつの条例が全面施行されます。

「客引き行為等の禁止に関する条例」では、指導員の返り討ちなどの被害に備えて、宮城県警へ取り締まりなどの連携協力を要請

する。「自転車の安全利用に関する条例」では、地域での条例説明、自転車損害補償保険加入を義務付けるなど、一歩踏み込んだ対策を求めました。

市は、宮城県警に協力要請を行い、綿密な連携を図ることになりました。自転車の安全利用についても対策強化を進めるなど、まちの安全・安心を確保するために部局をあげて取り組んでいくとの考えを示しました。

いじめ問題に本気の取り組みを。子どもを守る児童相談所の機能強化を求めました。

仙台市では5年間で3人の中学生がいじめによって命を奪われ、昨年11月には小学生とその母親がいじめを苦に命を絶しました。全市議会議員による「いじめ問題等対策調査特別委員会」の委員長として、昨年4月にいじめ問題対策中間報告書を市に提出したわずか半年後のことです。市には取り組みの本気度を問い質しました。

また、虐待から子どもの命を守るために、各自治体に先んじて児童相談所の機能強化を進めるべきであると言及しました。

子どもたちが安心して学べる安全な学校にしていくために、市には一刻も早い対策強化を求めていきます。

子どもたちにおいしく、楽しい、栄養バランスのとれた給食を届けたい。

市立小中学校の給食費の改訂と栄養不足問題についても言及しました。日々成長を続け

る子どもたちに、おいしく、楽しい給食を提供できるよう、スピード感をもって問題解決にあたるよう求めました。

ガス自由化をチャンスに、事業の枠を超えた施策とサービスの向上を求めました。

ガス自由化から約2年が経過し、既に民営化をスタートさせた自治体では、割引還元ポイントの付与など、市民生活に様々なサービス向上がもたらされています。仙台市ではいつ民営化が実施されるのか、民営化後の市民サービス向上をどのように考えているかなど、市の対策を問い質し、早期の民営化実施を提言しました。

議会での新庁舎調査特別委員として積極的に発言。

仙台の新しいシンボル、新市庁舎建て替えがスタートします。

1棟整備で検討中。

- スケジュール
- 2019年：基本計画
- 2020年：設計
- 2023年：本体工事(32ヶ月)
- 2026年：完成

●地上19階・地下2階



昨年11月、外部有識者による検討委員会が設置され、現在基本構想策定に向けた議論が進められています。建物は1棟建て、構造上、階段式の傍聴席を確保する議会を最上階に設置することがほぼ確定しています。

活力ある次世代の 都市づくりを めざして

行動する!

**八木山動物園とジャニーズとの
コラボレーションで動物園の
魅力アップをめざします。**

東日本大震災発生以来、被災地への様々な支援を行っているジャニーズの復興支援財団である「マーチングJ財団」の事務局長と面会し、新しい支援策を打診しました。それが八木山動物園へのジャニーズのジャニーズアンソング導入にあたっての費用面での協力とネーミングライツの検討です。



開園から53年が経過した八木山動物園が『八木山ジャニーズパンダ動物園』として大いに盛り上がり、子どもたちに夢と希望を与える場所になれるよう、市には積極的なアプローチを期待します。

**議会での発議から25年、
音楽ホール建設が実現。
機運と期待が高まっています。**

音楽はいまや仙台市が誇るべき文化資源です。「楽都」としての取り組みをさらに発展・



継承していくために、私が率先して求めてきた「音楽ホール建設」が動き出しました。国内外から多くの音楽ファンが集まることを想定した立地を含め、ホール建設の具体的な

方向性を示すよう市に求めました。また、県が検討している同規模（2000席）の施設整備との関係をもとに整理していくかについて問い質しました。

**東京オリンピック・パラリンピックの
キャンプ地の誘致で世界にアピール。**

市は2月、イタリアのバレーボール連盟並びに野球・ソフトボール連盟と、東京オリンピックの事前キャンプ実施をめざした覚書に締結しました。これを踏まえて、パラリンピック競技の誘致状況を確認すると共に、イタリア以外の国の受け入れについても、インバウンドの拡大や人的・文化的交流の視点などから積極的に取り組んでいくべきではないかと質しました。

イタリアサッカー連盟からは、既にキャンプ地の第一候補として検討するという親書を受け取っており、5月にはイタリアのパラリンピック競技団体のテストキャンプが予定されています。市には、施設や受け入れ体制などをしっかりアピールしていくことを期待します。

**始まります！
10月から幼児教育の無償化実施。**

3歳から5歳までのすべての子どもたちと、0歳から2歳までの住民非課税世帯の子どもたちの幼稚園・保育所・認定こども園などの利用料が無償化されます。子育て世帯を応援し、さらに住み良い仙台になる新たな制度です。詳しくは、子供未来局認定給付課 ☎214-8665555 にお問い合わせください。

**「日タイ友好仙台市議会
議員連盟」発足。
会長として両国の幅広い交流に
尽力していきます。**

2月22日、仙台市議会全7会派50人が参加して設立総会が開かれ、発起人である私が会長に選出されました。市議連は、仙台・バンコク定期便の再開に向けた市の施策を後押しし、タイとの経済・観光などでの交流を深めることを目的としています。今後はタイとの交流活動の先頭に立ち、仙台市の活性化につなげていくことをめざします。



宇宙食と非常食、開発技術をつないで、新たな産業の創出を実現。

かねてより尽力していた防災食開発会社「ワンテーパー」と宇宙航空研究開発機構（JAXA）の提携が実現。誕生した「防災宇宙食プロジェクト」に仙台市が参画し、昨年12月10日、パートナー就任式が行われました。防災宇宙食は栄養価が高い、5年保存の備蓄食ゼリーで、今年5月の商品化を予定。市は震災経験を活かした様々な情報を共有し、防災関連産業を支援していきます。

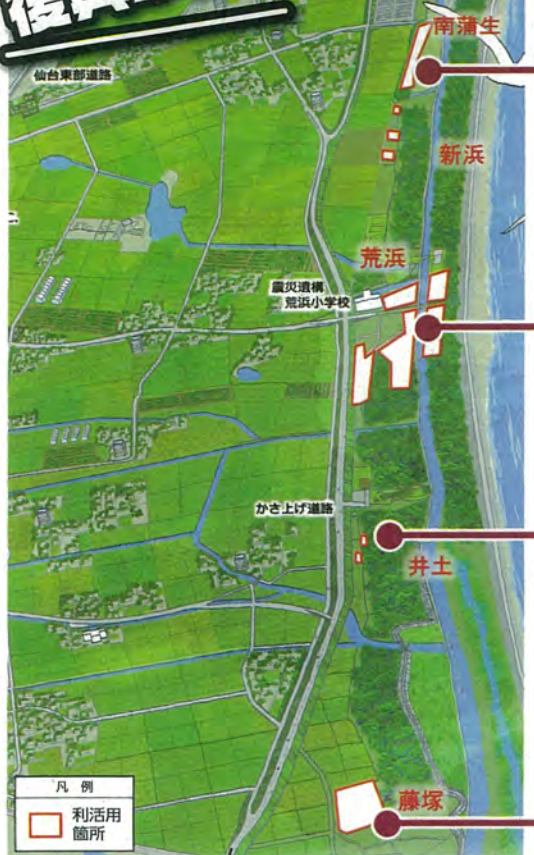


若林区の復興が前進!

新しい沿岸部が誕生します。

仙台市東部沿岸部の集団移転跡地が賑わいのあるエリアに。

夢のある
整備計画
進行中



南蒲生地区〈海の近くのドッグラン〉

- 愛犬との楽しい時間を。大型の屋根で覆われた全天候型、天然芝のドッグラン、ドッグプール、ドッグカフェを併設

荒浜地区〈スポーツ&レクリエーション〉

- 元気いっぱいスポーツパーク!
人工芝のサッカー場、幕構造の体育館、パークゴルフ場、クラブハウス、飲食ブース、キッズパークなど
- フレッシュフルーツを満喫
1年中フルーツ狩りができる体験型大規模観光果樹園「みどりの杜」イチゴ、ブドウ、梨、キウイなどの加工体験施設や地場産品の直売所を併設
- 旧荒浜の住民の方たちを中心とした「手づくり市民農園」
- みんなでキャンプ!
テント常設キャンプ場、オートキャンプ場、本格的バーベキューテラス

井土地区〈ブランド農業〉

- 農事組合法人 井土生産組合「井土ネギ農園」(第48回 日本農業大賞集团組合の部 大賞受賞) ねぎ詰め放題のイベントも開催

藤塚地区〈グルメ&リラックス〉

- 有名シェフのイタリアンレストラン、和食の鉄人の日本料理店
- スイーツ・ベーカリーのショップ、地場産品のマルシェなど
- 海が見渡せる地上9メートルの展望浴場

凡例
利活用箇所

あと2年お待ちください。大和小学校増改築工事計画

- 2019年…既存校舎・体育館の解体工事後、新築工事に着手。
- 2021年…春から新しい校舎で。体育館・プールも使えるようになります。

改築工事中の行事や体育授業などは外部施設を利用して行われます。

3中学校で夏までのエアコン設置決定

若林区関係では、七郷中学校、蒲町中学校、五橋中学校で工事発注契約が締結され、今年夏までに設置される予定です。今後も随時設置工事に向けての発注契約が進められます。

決まりました! 三本塚と井土地区の集会所が再建されます。

市と県が連携して整備費用を負担し、地域の交流拠点として、来年3月までに整備されます。

成人式の「20歳維持を」市長に署名簿を提出

2022年4月に成人年齢が18歳に引き下げられ、成人式の出席年齢も見直す動きが出ていますが、ほとんどの18歳は受験や就職を控えた高校3年生です。

2月、若林区荒町の奥江貝服店・佐藤社長と共に、一生に一度の成人式を安心して迎えられるように、仙台市では出席年齢を20歳に維持するよう求める約460人分の署名簿を郡市長に手渡しました。

はい、佐藤まさあきです!

なんでも相談ダイヤル

私の質疑を仙台市議会のホームページで見ることができます。ぜひ、ご覧ください。

お聞かせください皆様の声。

市政へのご意見、ご要望、地域や暮らしのご相談など、お気軽におよせください。

E-mail masaaki.sendai@gmail.com

TEL 783-3255

*留守電の時はひとことメッセージを、折り返しこちらからご連絡いたします。

仙台市議会議員(若林区) **SATO MASAAKI 佐藤 正昭 60歳**

- 宮城県リズムダンス連盟 会長
- 仙台市立高校を支援する議員の会 代表
- 宮城県ユースホステル協会 会長
- 自由民主党 仙台市若林区支部長
- パークゴルフ議員連盟 会長
- 仙台市立工業高等学校同窓会 前会長 など

◎全国の志ある青年議員に呼びかけ、全国若手市議会議員の会を結成。第4代会長として活動。
 ◎「スポーツ市議の会」会長・幹事長として、バガルタ仙台、仙台89ERSを強力に支援。東北楽天ゴールデンイーグルスの仙台市誘致、フットサル・ヴォスクオーレ仙台のFリーグ昇格に尽力。
 ◎第52代仙台市議会議長として、国・政府と粘り強く交渉し、市独自の復興事業や被災家屋の解体申請延長などを勝ち取る。
 ◎東北市議会議長会会長、宮城県市議会議長会会長として東日本大震災からの復興・まちづくりを牽引。